

情報システム部

1. 情報システム部について

県協会の会員増に伴い、事務局の業務負担が増加傾向にあることで運営業務を合理化する全体最適化が求められる状況になってきました。すでに一般化している情報システムの活用を推進するとともに新技術・製品の評価・選定を行い、運営環境や会員向けサービスの向上に努める役割を担う部署として2024年度に新設されました。

2. 2025年度の活動実績

2025年度ではPマーク取得のための加藤理事・森本理事を中心にプロジェクトを開始し2026年3月に取得しました。

昨今、行政を含めた関係者の情報漏洩事案、それに伴う対策等の要望が増えてきています。

行政からの受託事業においても参加条件にもなっているため今後活用できるものと考えています。

また、5階の入退出については備え付けの管理簿の運用も始まっております。



従来、各会員のメールや外部サービスの入力フォームで受け付けていた受託事業の専門家公募も2024年1月からkintoneで行うようにしています。また、協会での各事業の参加後の報酬もこのkintoneで報告させていただいております。これまでのメールでの添付はありませんのでkintoneを見ていただきたくお願いします。今後も活用シーンを増やしていきますので、積極的に利用し、ご意見等いただけるようお願いいたします。



公募アプリ・メールソフト連携で連絡もスムーズに

3. 2026年度の活動予定

(1) 内部システム管理

事務局業務の効率化のため、協会会議室・備品・Zoomアカウントの利用申請や、協会イベント・セミナー等の参加受付をkintone上でできるようアプリ開発・運営管理を継続して行います。

(2) セキュリティ対策

Pマーク取得を進めるとともに、内部統制を担当する総務部と連携し、協会内の情報セキュリティ対策として情報資産の棚卸からはじめ、実行計画をとりまとめる予定です。

(3) DX支援

2023年度に事業部で立ち上げた「地域DXコミュニティ」の運営を通して、県内・県外の中小企業への情報提供を行い、DX支援の事業化をさらに推し進めていきます。

● kintoneの利用について

kintoneは、プログラミングの知識がなくてもアプリを作れるクラウドサービスです。

【アプリ】とは、“kintoneという箱”の中に作って置く業務システムで、データを蓄積・一覧・検索できるデータベース機能と、業務を円滑に進めるためのコミュニケーション機能が備わっています。

【スペース】は“kintoneという箱”の中に作れるさらに小さい箱で、スペースに参加できる人を限定したり、スペース内でコミュニケーションをとるためのスレッド機能などもあります。

また、各会員のアカウントには【組織】を紐づけることができ、組織単位でアプリ・スペースの利用に制限をかけることもできます。

研究会・研究会に準じる協会内組織もkintoneに反映させることができます。入退会は各組織で自主管理されていると思いますがkintone上に反映させる際にはアプリから申請をお願いします。

また、研究会・研究会に準じる協会内組織にも希望により【スペース】を作成しますのでアプリから申請してください。スペース内には自由にアプリを作成することができます。

非公開スペース以外のアプリ(全会員向け)などの開発・運用に関しては情報システム部が協力しますので都度お問合せください。